

授業科目名・形態	小児看護学実習	実習	必修・選択の別	必修
担当者氏名	佐藤光子・伊藤洋介・若狭由紀子	開講期	3年前期・後期	単位数 2

【授業の主題】

1. 小児看護の特徴を理解し、発達段階や健康レベルに応じた看護の基礎的能力を養う。
2. 健康障害をもつ小児とその家族を理解し、適切な生活環境や必要とする看護を学ぶ。

【到達目標】

1. 小児の成長・発達を理解し、発達段階やそれぞれの健康レベルに応じた援助について理解できる。
2. 健康障害が小児と家族に及ぼす影響や、健康障害をもつ小児とその家族の看護について理解できる。
3. 健康障害をもつ小児とその家族の看護を通して、適切な生活環境や必要な看護について考えることができる。
4. 小児看護における看護師の役割と態度について理解できる。
5. 受け持ち患児への看護展開ができる。

【授業計画・内容】

1. 実習施設
 - 1) 大館市立総合病院 小児科病棟及び小児科外来
 - 2) 大館市立城南保育園および大館市立城南保育園子育て相談室
2. 実習方法
 - 1) 実習期間： 前期 平成30年4月16日～7月13日
後期 平成30年10月1日～10月26日
グループ毎に2週間の実習を行う。
 - 2) 各実習施設において、健康障害をもつ小児及びその家族や健康な小児に必要な援助を、教員・看護師・保育士の指導のもとに実施する。
 - 3) 詳細は実習要項参照

【授業実施方法】 臨地実習

【授業準備】

事前学習課題を中心に小児看護の特徴及び主な疾患と看護を復習しておくこと。また直前オリエンテーションで小児看護に必要な援助技術を再確認して実習に臨むこと。

【主な関連する科目】 小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ、病態治療学Ⅲ（小児科）

【教科書等】

【参考文献】

小児看護学概論、小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ、病態治療学Ⅲ（小児科）で用いた教科書及び参考書、資料など。

【成績評価方法】

実習態度・実習出席状況等 60%、実習記録・事前学習等の記録 40%を総合して評価する。

【学生へのメッセージ】

健康な子どもと健康障害をもつ子どもの違いを肌で感じてみて下さい。